

# 静岡県鉱工業指数 (平成24年1月分速報)

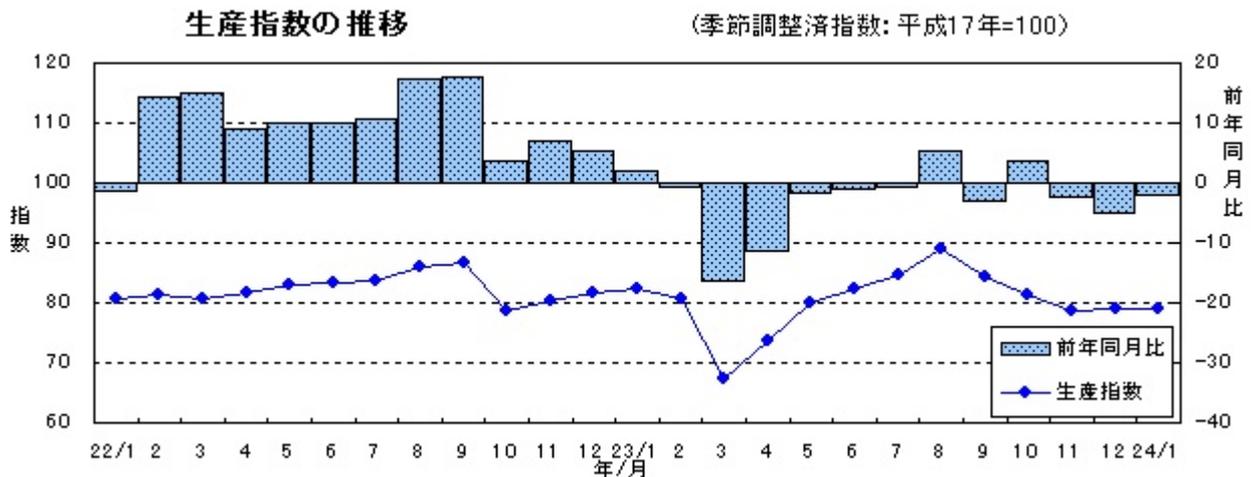
## 1. 生産の動き

前月比0.1%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比2.1%減(3か月連続して低下)

1月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は79.0であった。

前月比(季節調整済指数)は0.1%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.1%減と3か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、化学、非鉄金属等が上昇する一方、輸送機械、ゴム製品、電気機械等が低下した。



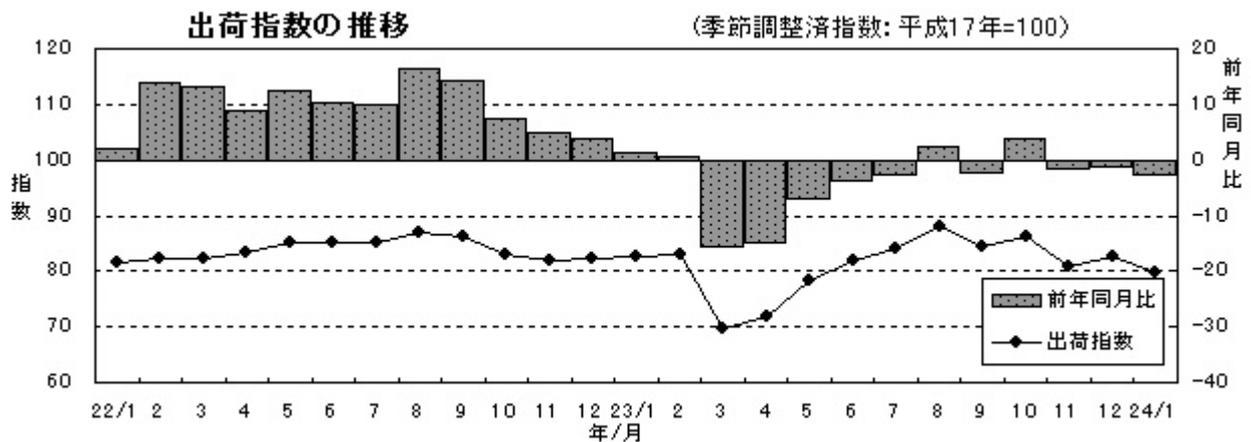
## 2. 出荷の動き

前月比3.6%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比2.5%減(3か月連続して低下)

1月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は79.6であった。

前月比(季節調整済指数)は3.6%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.5%減と3か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、非鉄金属、精密機械等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、ゴム製品等が低下した。



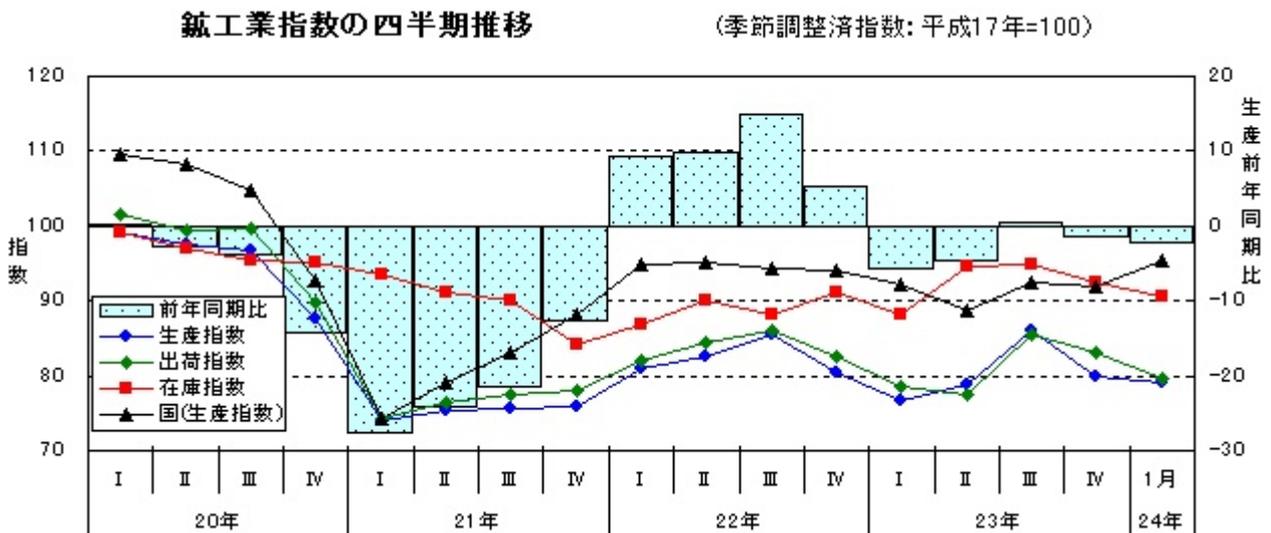
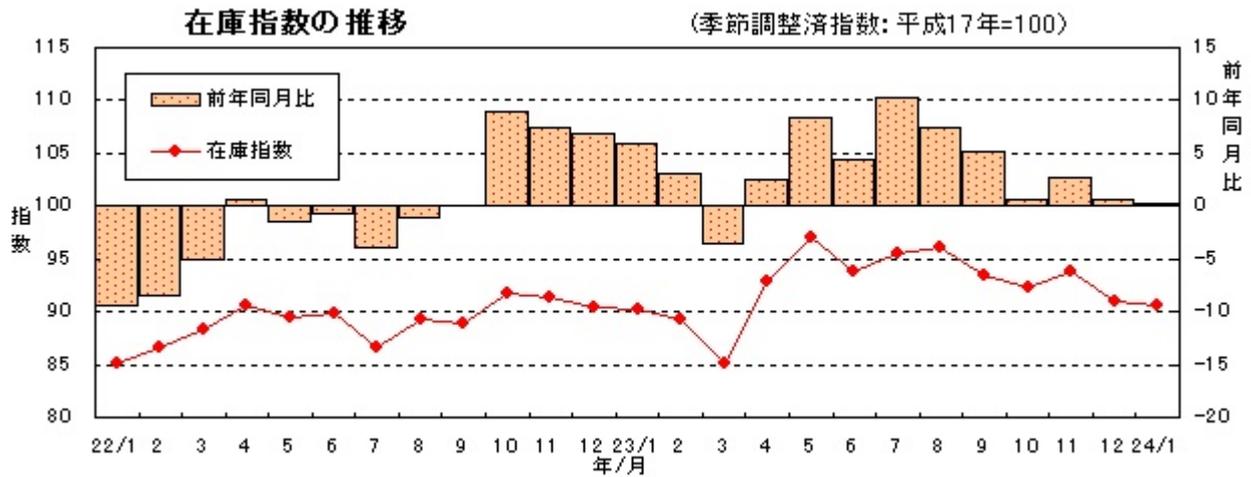
### 3. 在庫の動き

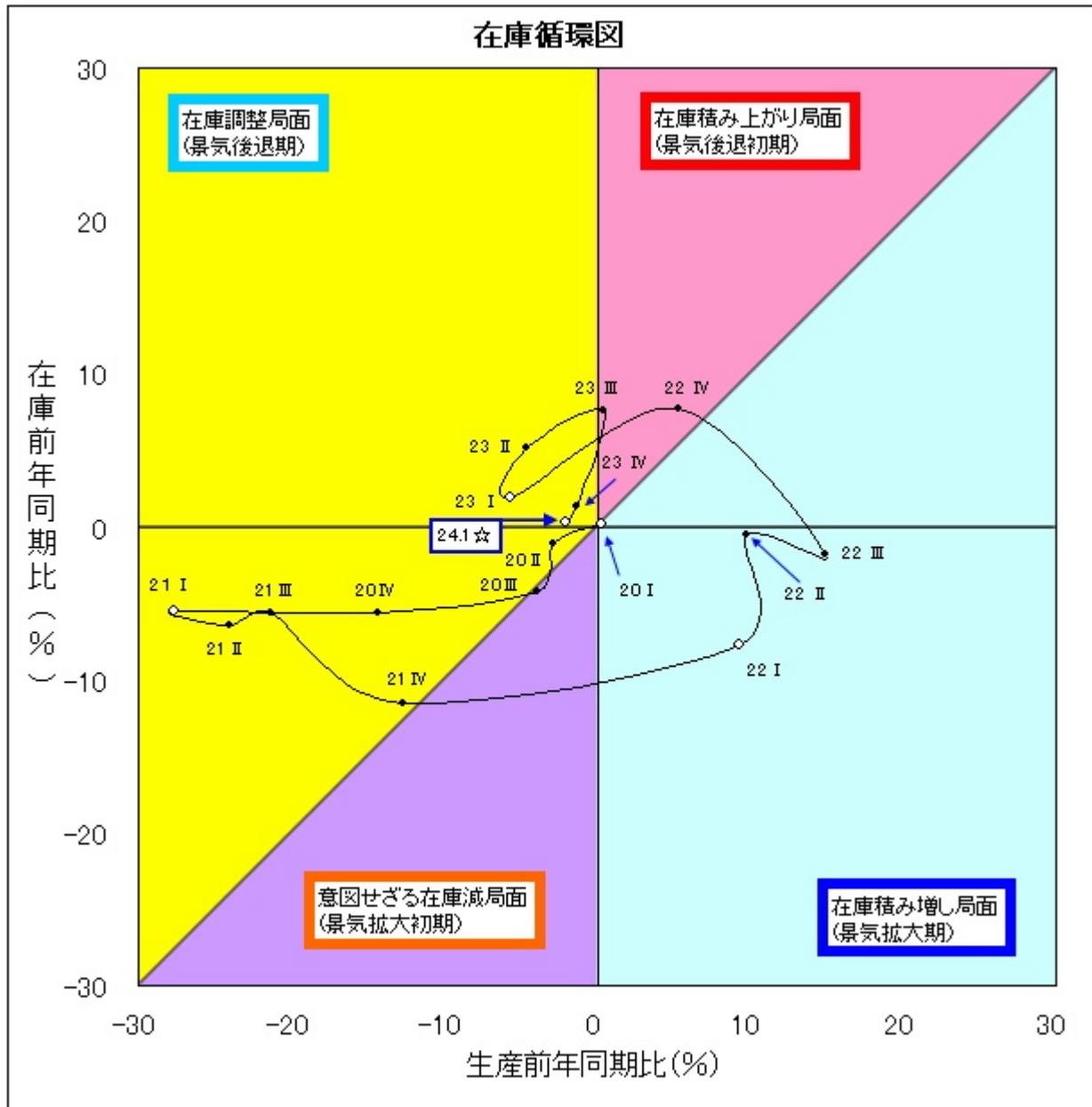
前月比0.3%減(2か月連続して低下)、前年同月比0.3%増(10か月連続して上昇)

1月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は90.6であった。

前月比(季節調整済指数)は0.3%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は0.3%増と10か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、非鉄金属、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石製品等が上昇する一方、化学、輸送機械、ゴム製品等が低下した。





- **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ★ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今月ここに該当**  
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。